

平成25年11月

平成25年 7月 ~ 9月期 実績
平成25年 10月 ~ 12月期 見通し

中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

主要景況項目の動き	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移 * 平成15年1月以降	23
[集計資料]	

D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。

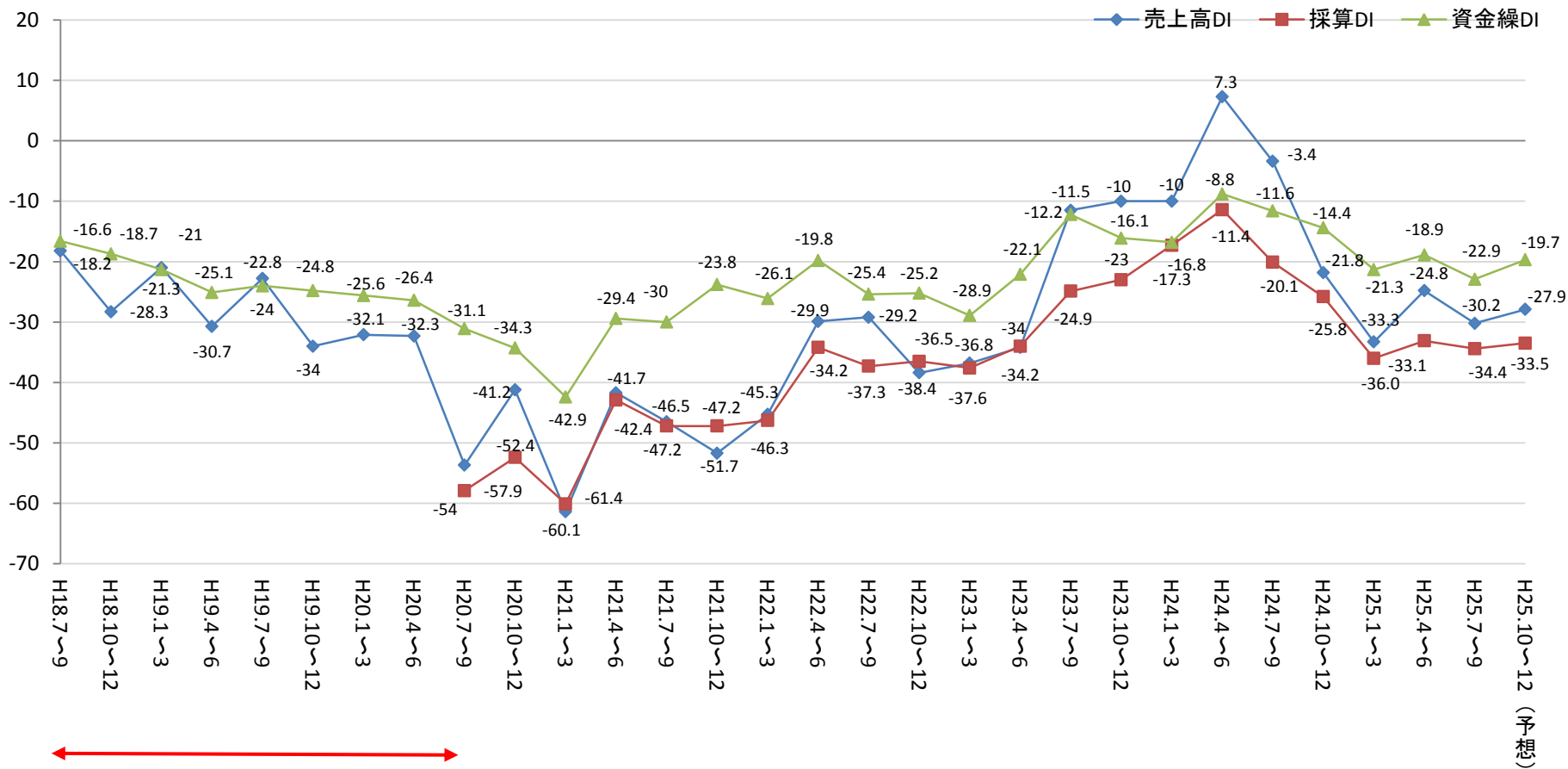
D・Iがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。





































[岩手県 産業全体]






主要景況項目の動き ー前年同期比ー



採算DIについては全国連にデータなし

業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	平成23年	平成24年				平成25年			(見通し)
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
製 造 業	 薄 曇	 薄 曇	 曇	 曇	 雨	 雨	 雨	 曇	 薄 曇
建 設 業	 晴	 晴	 晴	 薄 曇	 晴	 薄 曇	 薄 曇	 晴	 薄 曇
小 売 業	 雨	 雨	 薄 曇	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨
サ ー ビ ス 業	 薄 曇	 曇	 晴	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 雨

売上高DI	100.0 ~30.1	30.0 ~10.1	10.0 ~△10.0	△10.1 ~△30.0	△30.1 ~△100.0
表 示	 快 晴	 晴	 薄 曇	 曇	 雨

全産業の推移

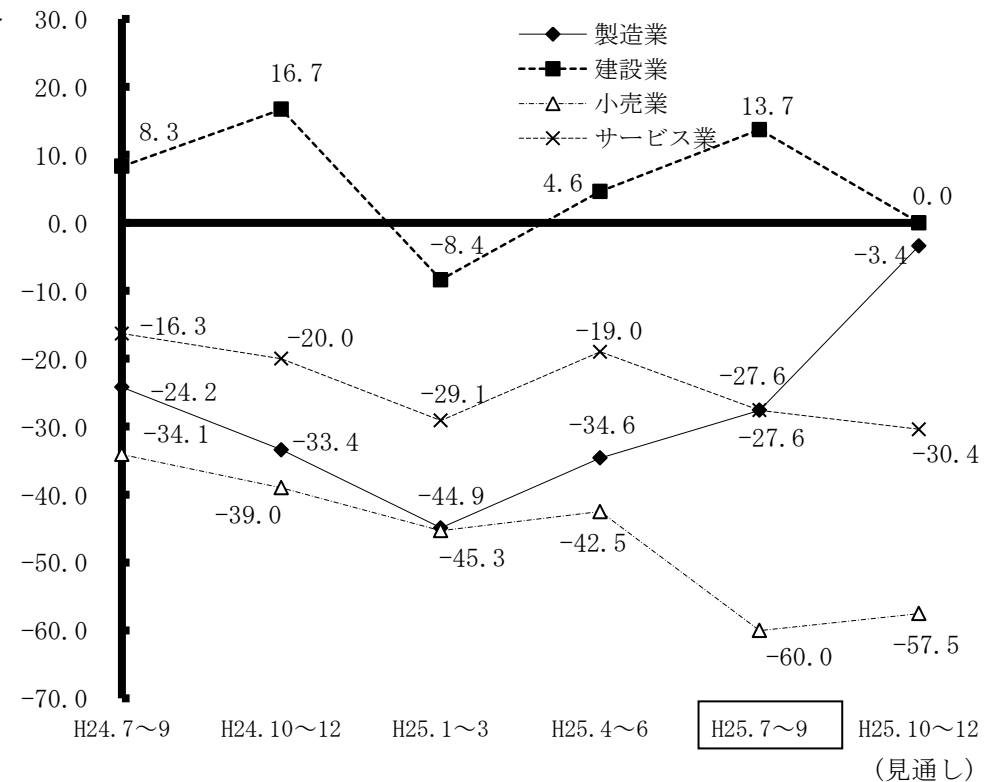
売上高

建設業では依然好調、小売業では過去最低水準

今期は、建設業において、公共事業の完工期にあたり、9.1ポイント上昇の13.7と好調を維持した他、製造業においては、7.0ポイント上昇の△27.6まで回復しました。

一方、小売業においては、販売不振に歯止めがかからず、17.5ポイント減少の△60.0と最低水準を記録しました。

来期は、建設業において、±ゼロまで大きく減少すると予想されますが、製造業においては、24.2ポイント上昇の△3.4まで回復する見通しです。



※建設業の売上高は完成工事高

全産業の推移

採算

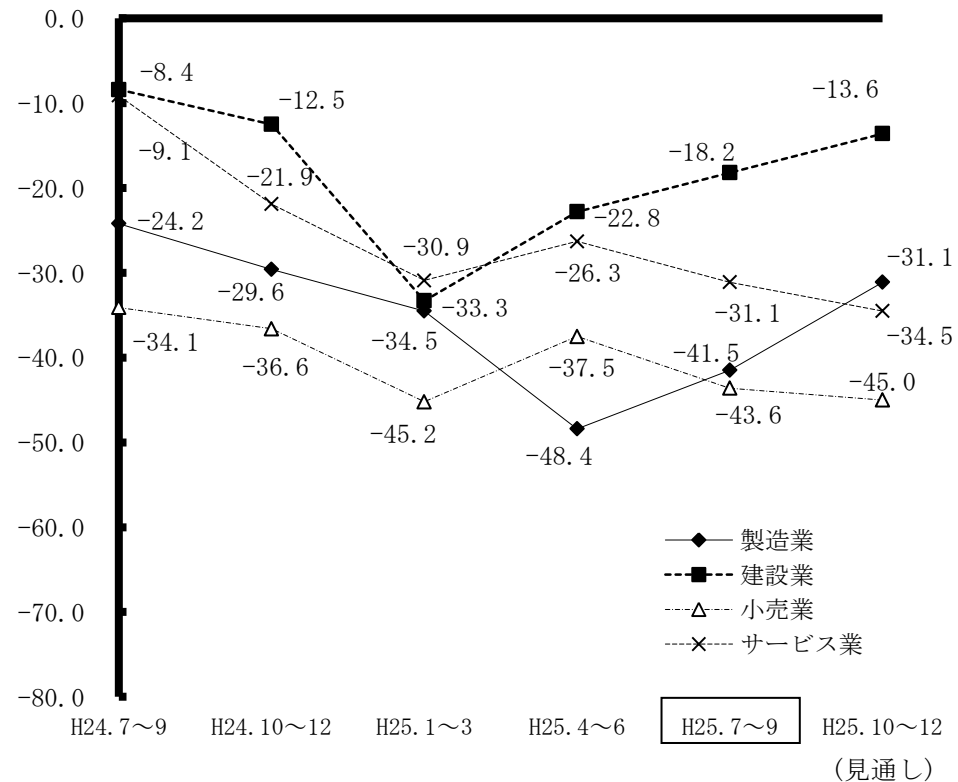
来期の製造業の回復に期待感

今期は、製造業、建設業の2業種において回復基調を示し、製造業では、6.9ポイント上昇の△41.5と回復したほか、建設業でも、4.6ポイント上昇の△18.2となりました。

一方、小売業においては、6.1ポイントマイナスの△43.6まで低下しました。

来期は、建設業、製造業においては、引き続き、回復基調を示し、特に製造業では、10.4ポイント上昇の△31.1と、大きく改善する見通しです。

※採算は各業種とも経常利益



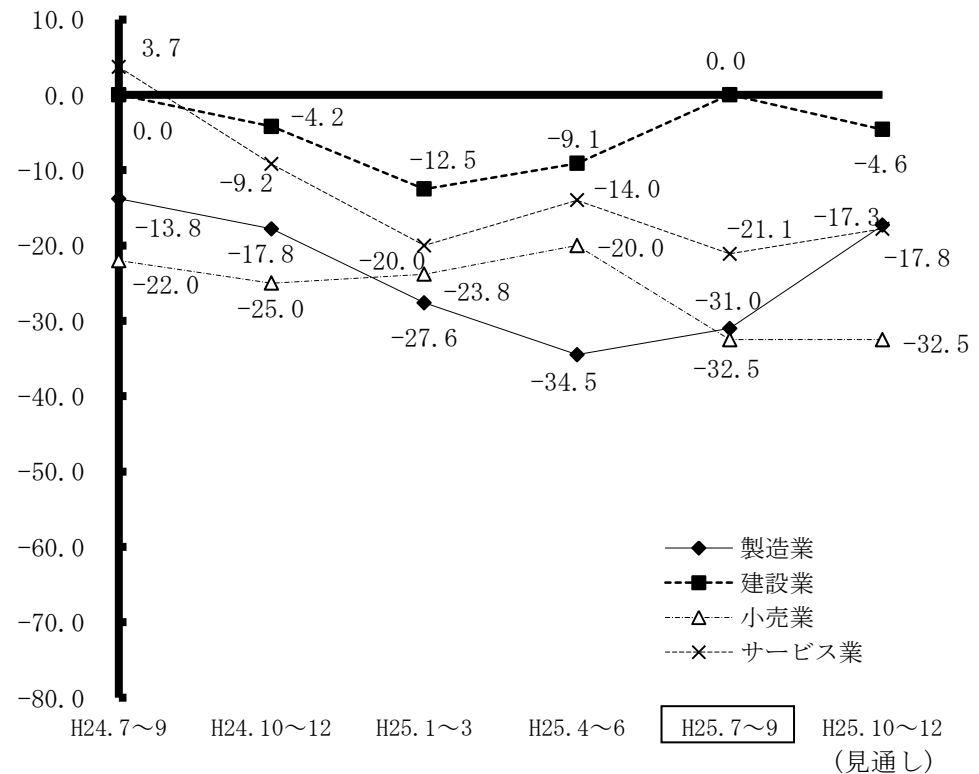
全産業の推移

資金繰り

小売業の資金繰り悪化が懸念

今期は、製造業において、9.1ポイント上昇と回復基調が持続しますが、小売業においては、12.5ポイント減少の△32.5まで低下したほか、サービス業においても、7.1ポイント減少の△21.1と資金繰りが悪化しました。

来期は、製造業において、13.7ポイント上昇の△17.3まで回復することが見込まれますが、小売業においては、依然資金繰りが不安視される見通しとなっています。



製造業の推移

売上高

<今 期>

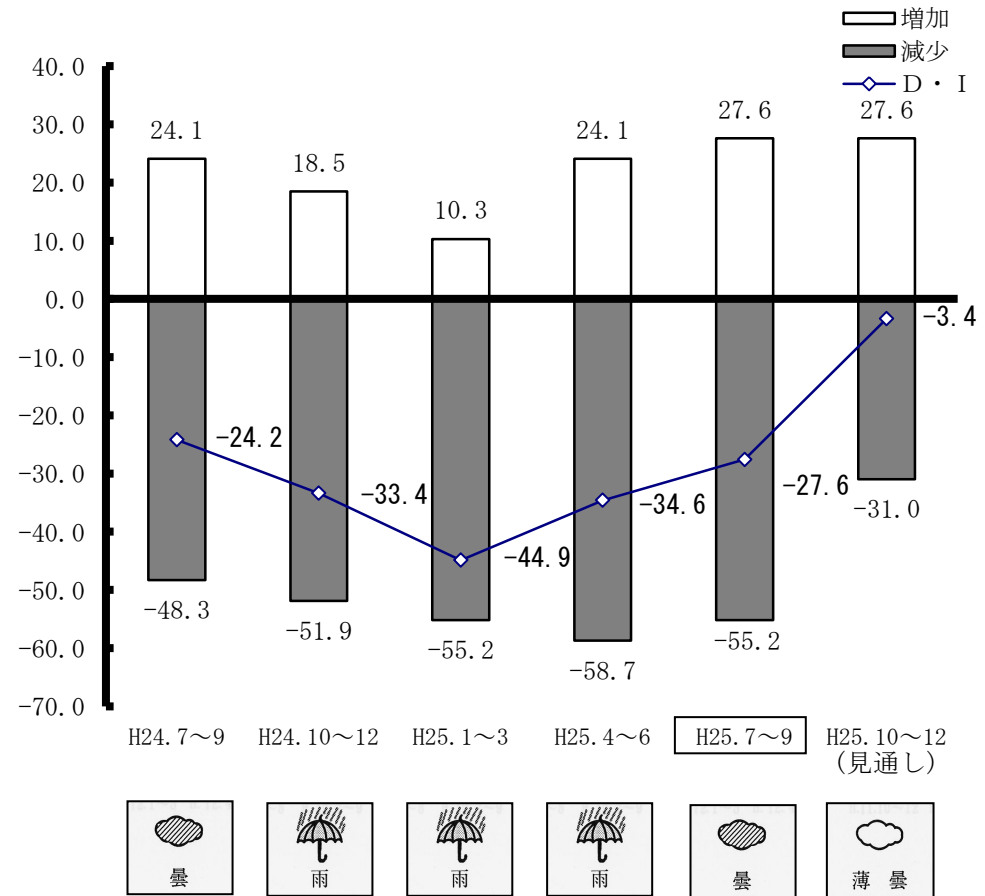


<来期見通し>



今期は、売上高の増加企業割合が若干増加したほか、減少企業割合も減少したことより、売上高D・Iは7.0ポイント上昇の△27.6となり、回復傾向が続伸しました。

来期は、売上高の減少を予想する企業が大幅に減少することから、さらに売上高D・Iは24.2ポイント上昇の△3.4まで回復する見通しです。



製造業の推移

採算

<今 期>



雨

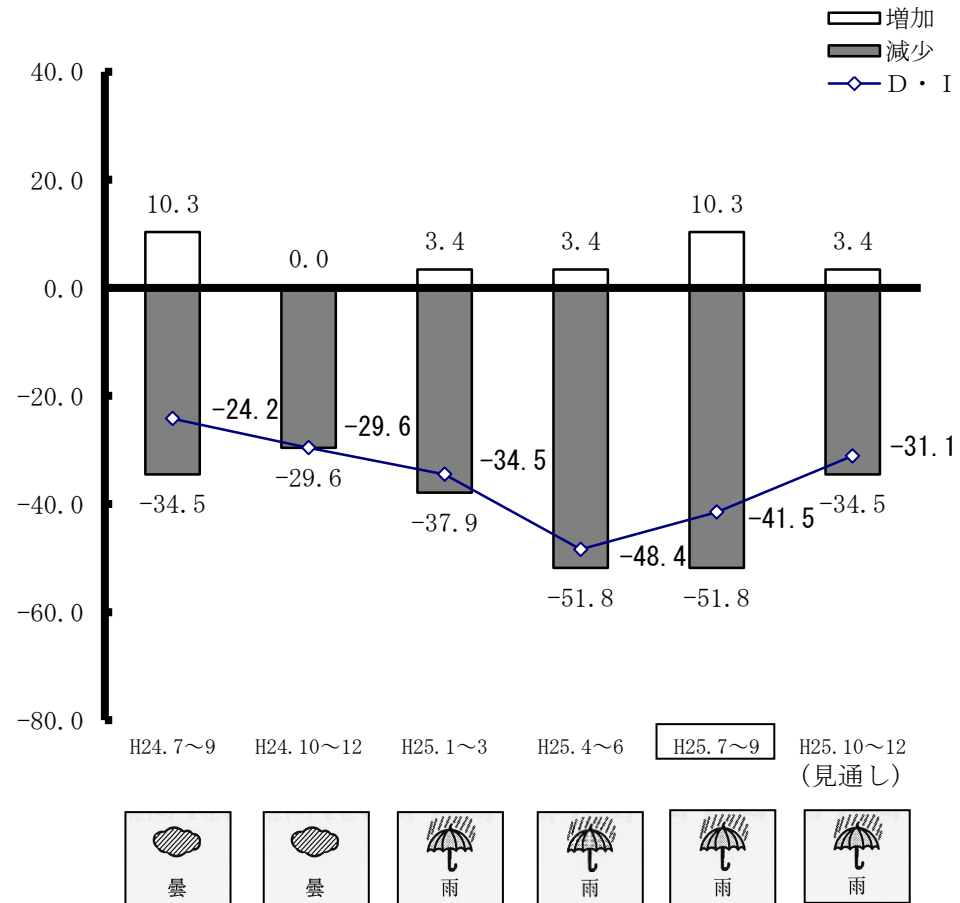
<来期見通し>



雨

今期は、採算の改善を挙げる企業の割合が増加したことにより、採算D・Iは△41.5と回復基調に転じましたが、採算の悪化を挙げる企業の割合は変わらず、依然不安を抱えたままで推移しました。

来期の採算D・Iは、採算が増加すると上げた企業の割合が減少したものの、採算の悪化を予想する企業が大幅に減少し、△31.1まで回復する見込みです。



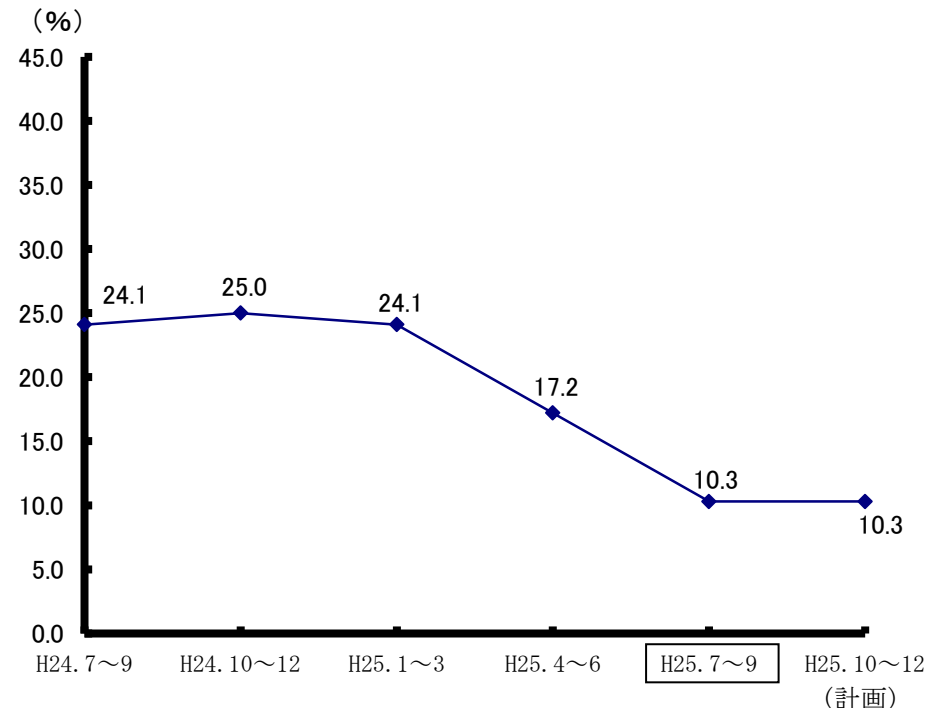
設備投資

今期は、設備投資を行う企業は引き続き10.3%と減少傾向を示し、下げ止まらない結果となりました。

これは、需要の停滞のほか、原材料や経費の高騰などに起因することが考えられます。

来期は、設備投資を計画している企業の割合は依然低水準で推移し、先行きの不透明感が続くと予想されます。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



経営上の問題点

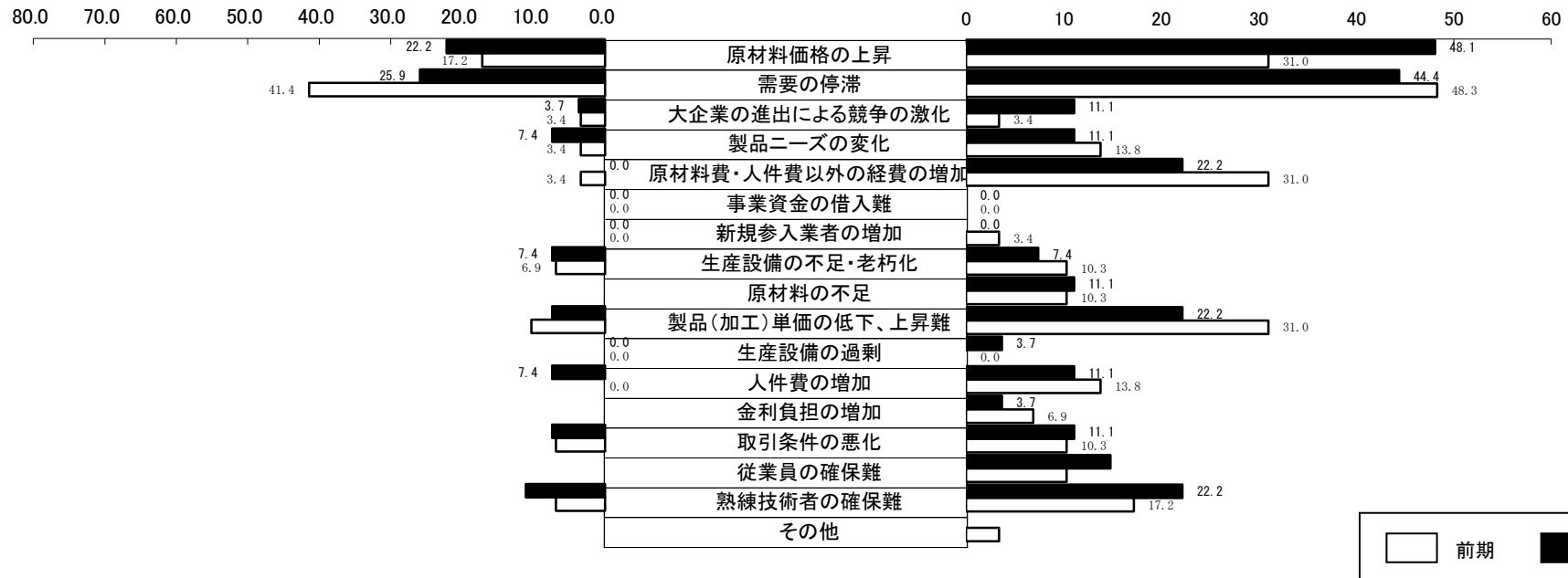
岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

1位~3位の問題点

(目盛: %)



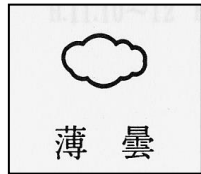
建設業の推移

売上高

<今 期>

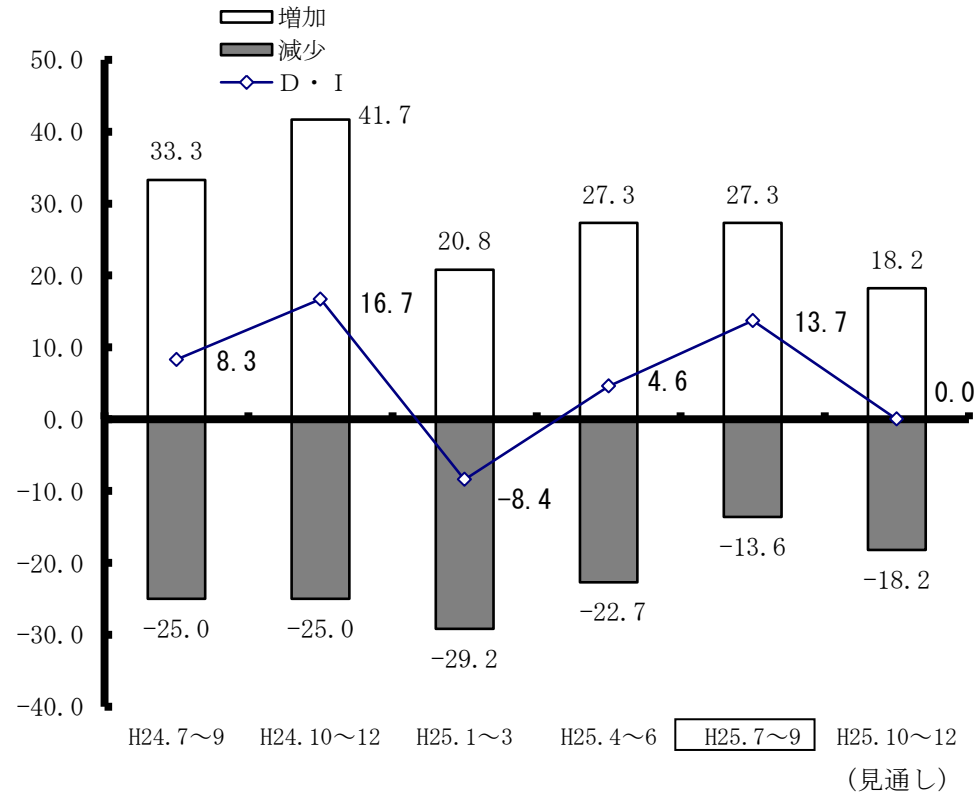


<来期見通し>



今期は、売上高の増加を挙げた企業の割合は変わらないものの、売上の低下を挙げた企業の割合が減少し、売上高D・Iは9.1ポイント上昇の13.7と上昇しました。

来期は、売上高の増加を予想する企業の割合が減少するほか、売上高の減少を予想する企業の割合も増加することから、売上高D・Iは、0.0まで減少し、予想天気図は薄曇となる見通しです。



※建設業の売上高は完成工事高

建設業の推移

採算

<今 期>

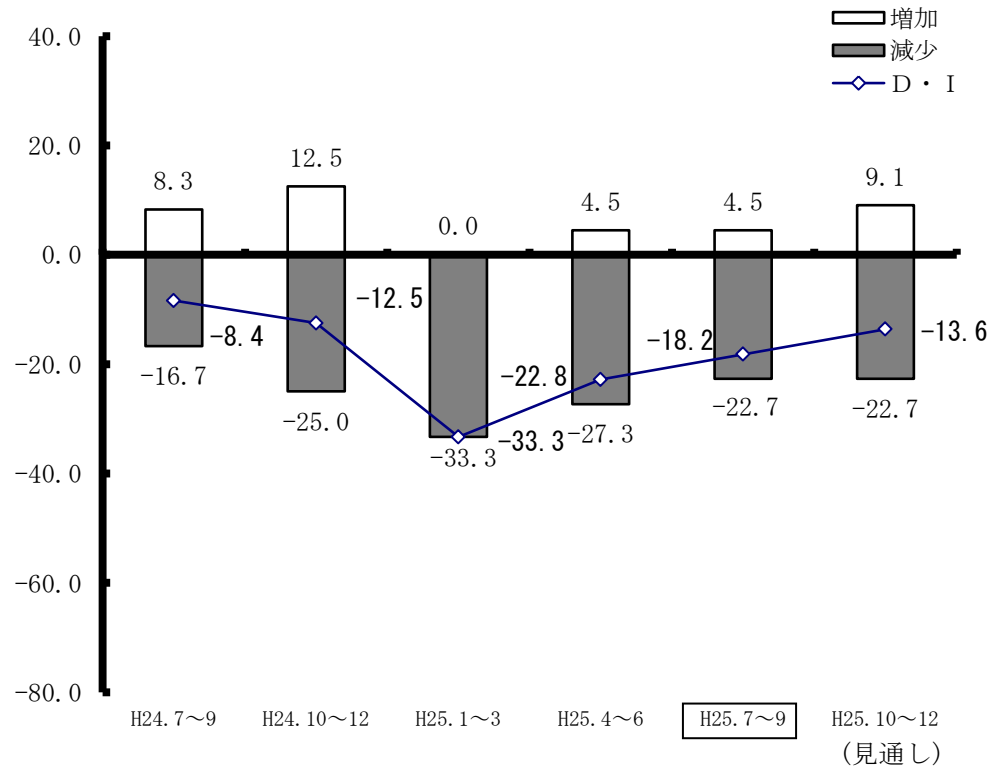


<来期見通し>



今期の採算D・Iは、採算好転を挙げた企業は変わらないものの、採算悪化企業の減少により、4.6ポイント上昇の△18.2となりました。

来期は、採算の悪化を予想する企業は変わらないものの、好転を予想する企業が増加し、採算D・Iは、4.6ポイント上昇の△13.6まで回復することが見込まれます。

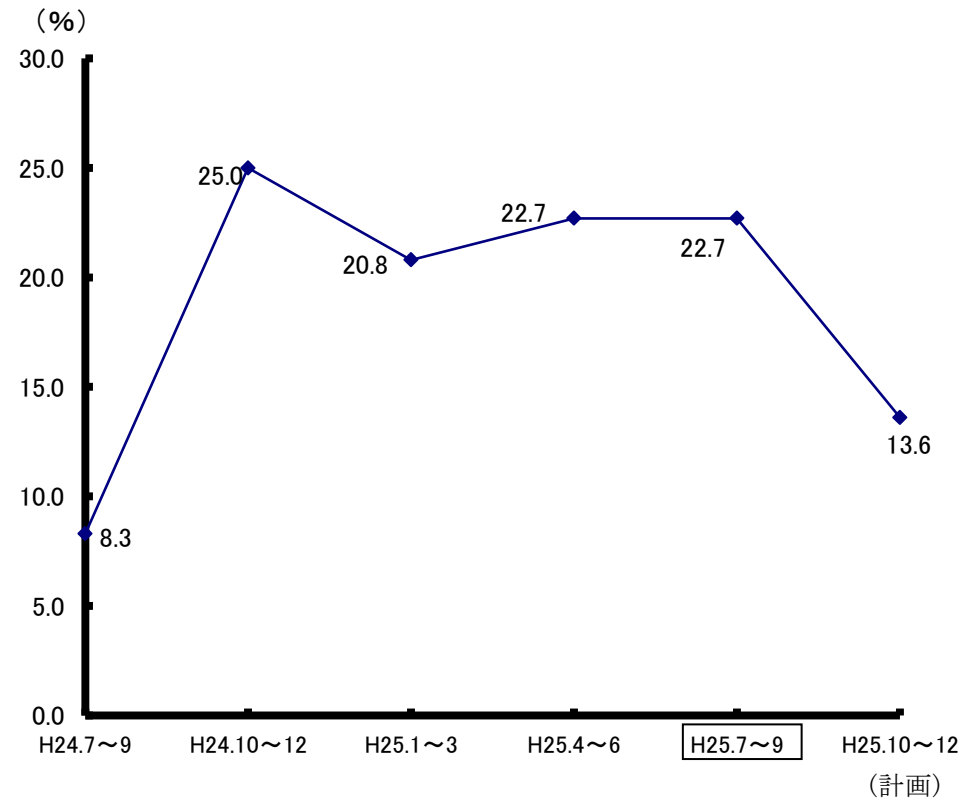


設備投資

前期見通しでは、設備投資を実施する企業は13.6%まで減少すると予想されていましたが、実際は、22.7%と同水準で推移しました。

来期は、設備投資を予定する企業は大幅に減少し、13.6%まで低下する見通しです。これは、材料価格の上昇による先行き不透明感等によるものと思われます。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

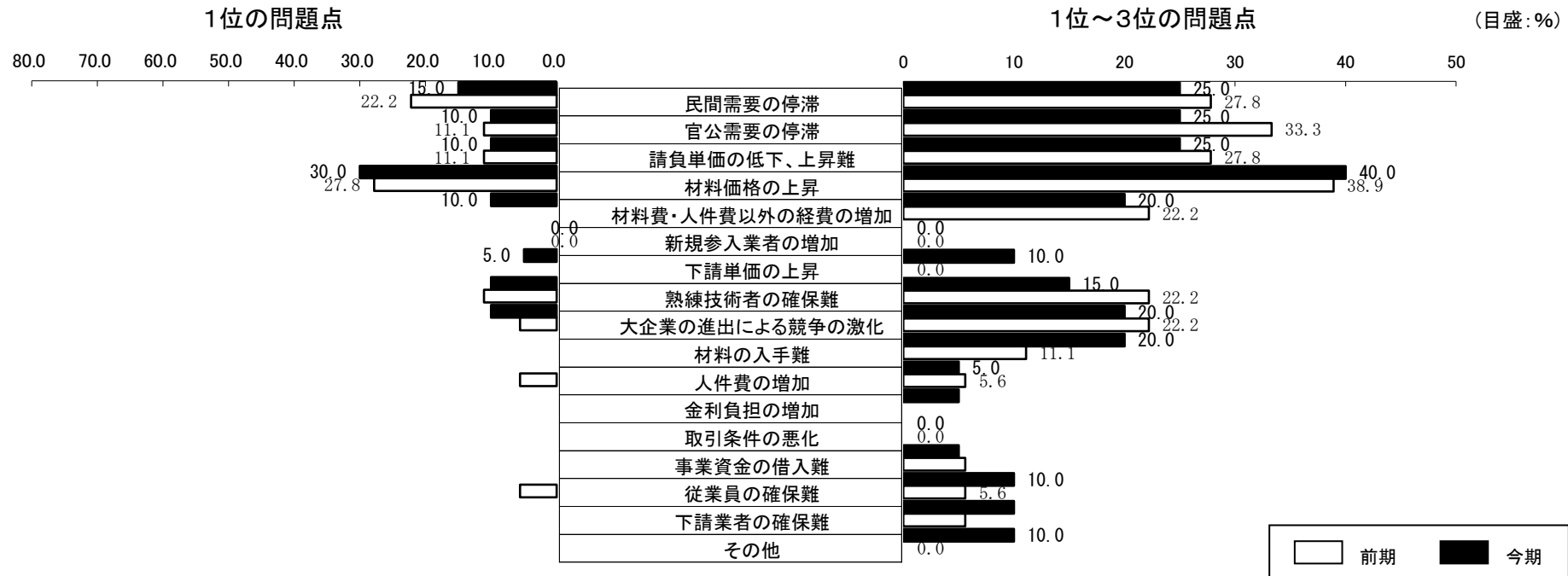


建設業の推移

経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



小売業の推移

売上高

<今 期>

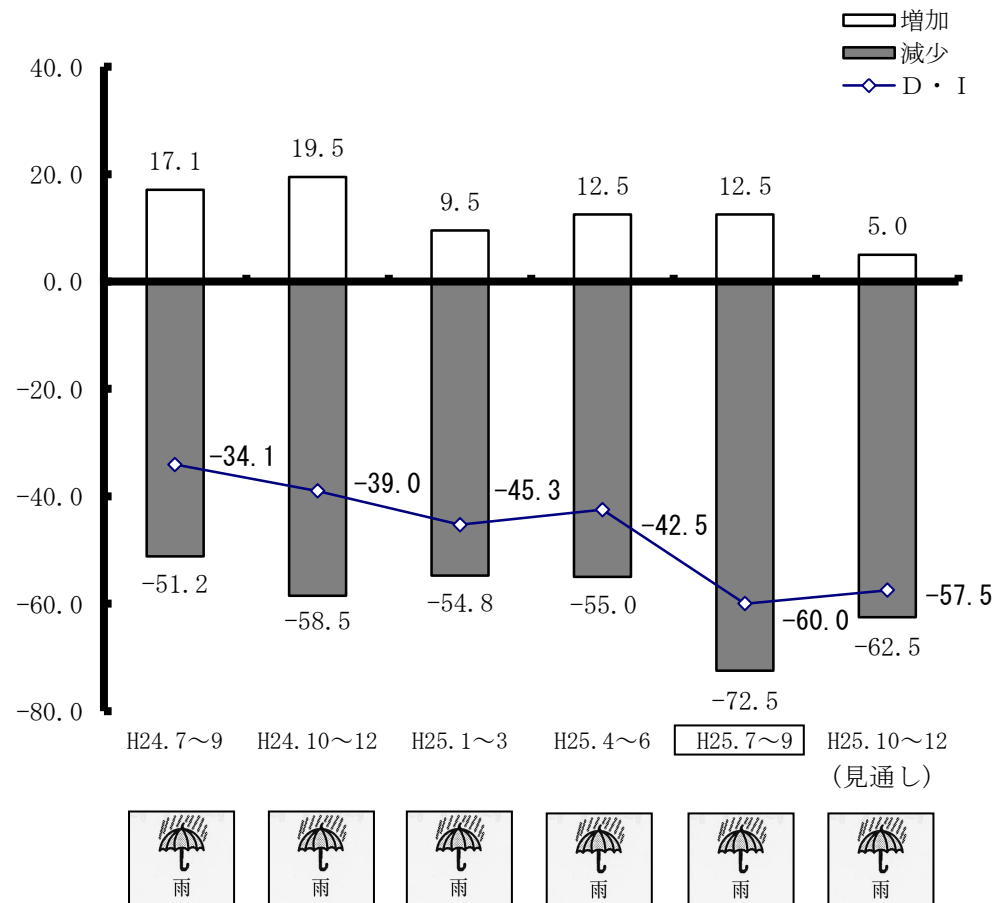


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合は変わらないものの、売上高減少企業が、17.5ポイントと大幅に減少したことから、売上高D・Iは、△60.0と過去最低水準まで下落しました。

来期は、売上高増加を予想する企業が減少するものの、売上高減少を予想する企業も、減少するため、売上高D・Iは、若干の回復が期待されます。



小売業の推移

採算

<今 期>

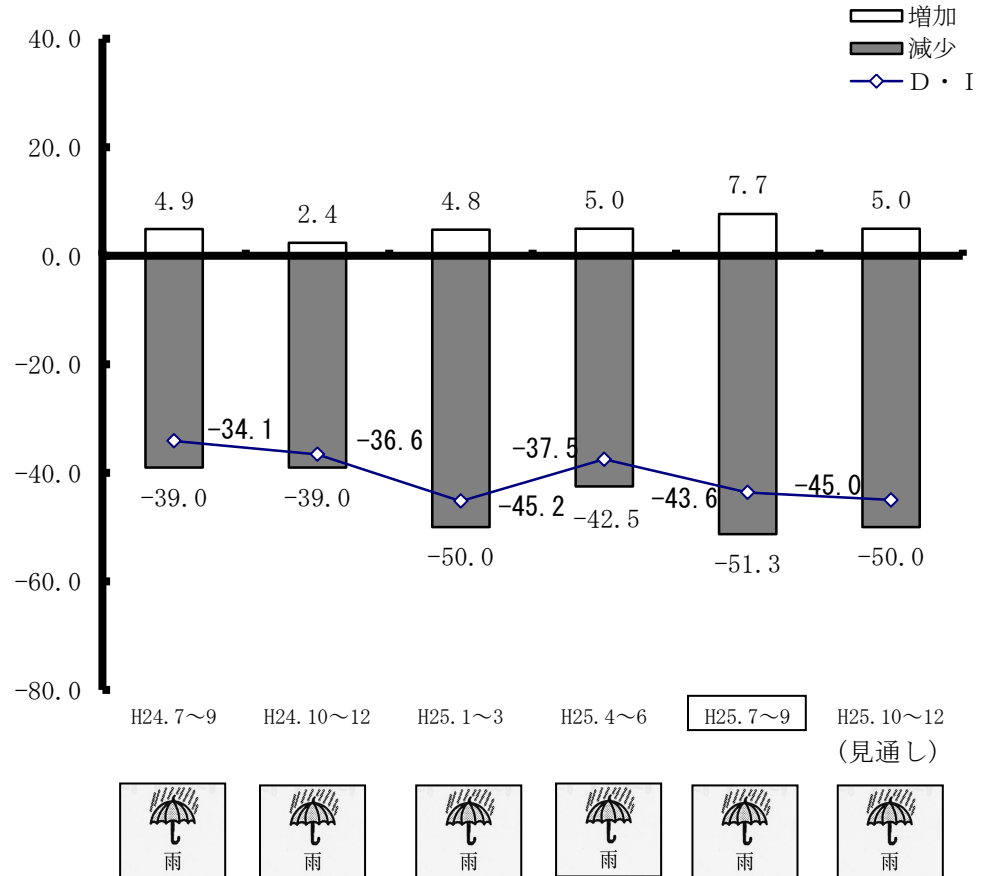


<来期見通し>



前期見通しでは、若干の回復が期待されると予想されていましたが、マイナス幅が6.1ポイント低下の△43.6となりました。これは、採算が悪化した企業の割合が前期に比べ、約20%増加したことによるものです。

来期は、採算の悪化を予想する企業の割合が若干減少するものの、採算の増加を予想する企業の割合も減少するため、さらに悪化することが予想されます。

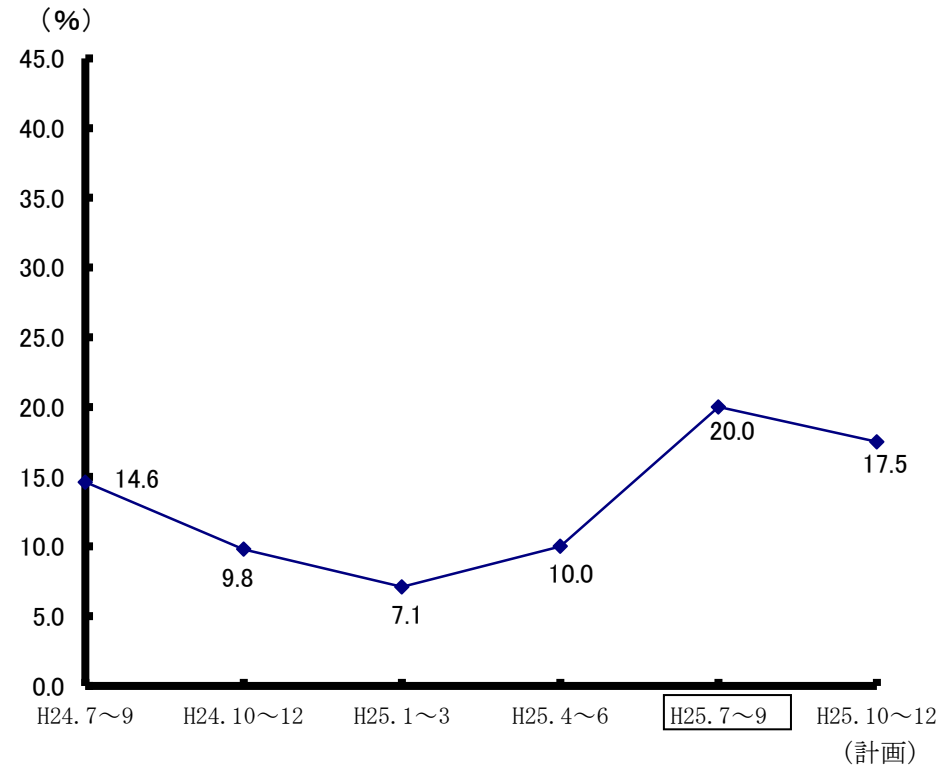


設 備 投 資

前期見通しでは、設備投資を予定する企業は10.0%まで増加すると予想されておりましたが、実際に設備投資を実施した企業は、20.0%まで大幅に増加しました。

来期は、設備投資を計画している企業がやや減少するものの、高水準で推移するものと予想されます。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

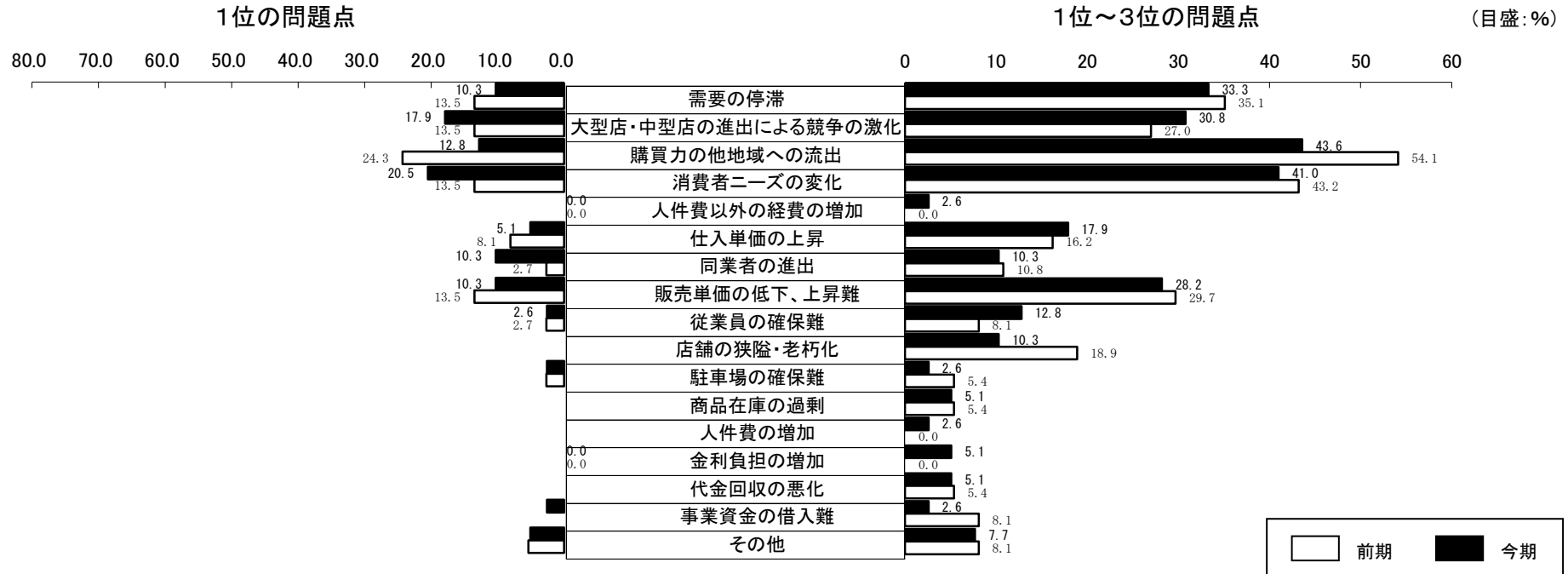


小売業の推移

経営上の問題点

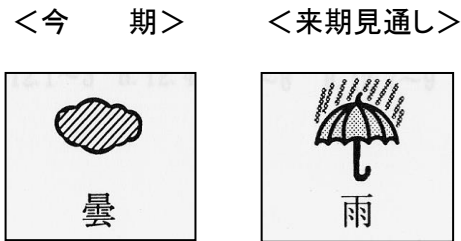
岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



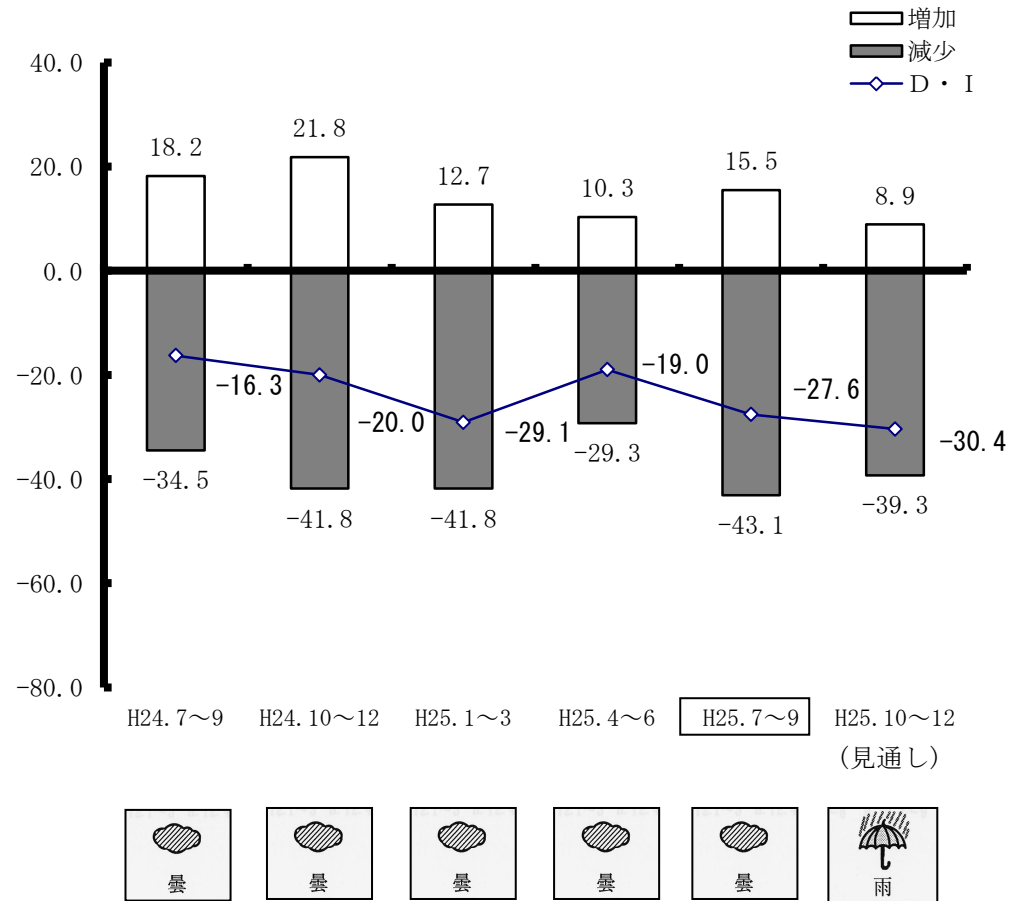
サービス業の推移

売上高



今期は、売上高増加企業が前期より若干増加したものの、売上高減少企業が大幅に減少し、売上高D・Iは、△27.6と、再び減少傾向に転じました。

来期は、売上高減少を予想する企業が減少するものの、売上高増加企業が減少することから、売上高D・Iは△30.4とさらに悪化し、依然減少傾向に歯止めがかからない見通しです。



サービス業の推移

採算

<今 期>

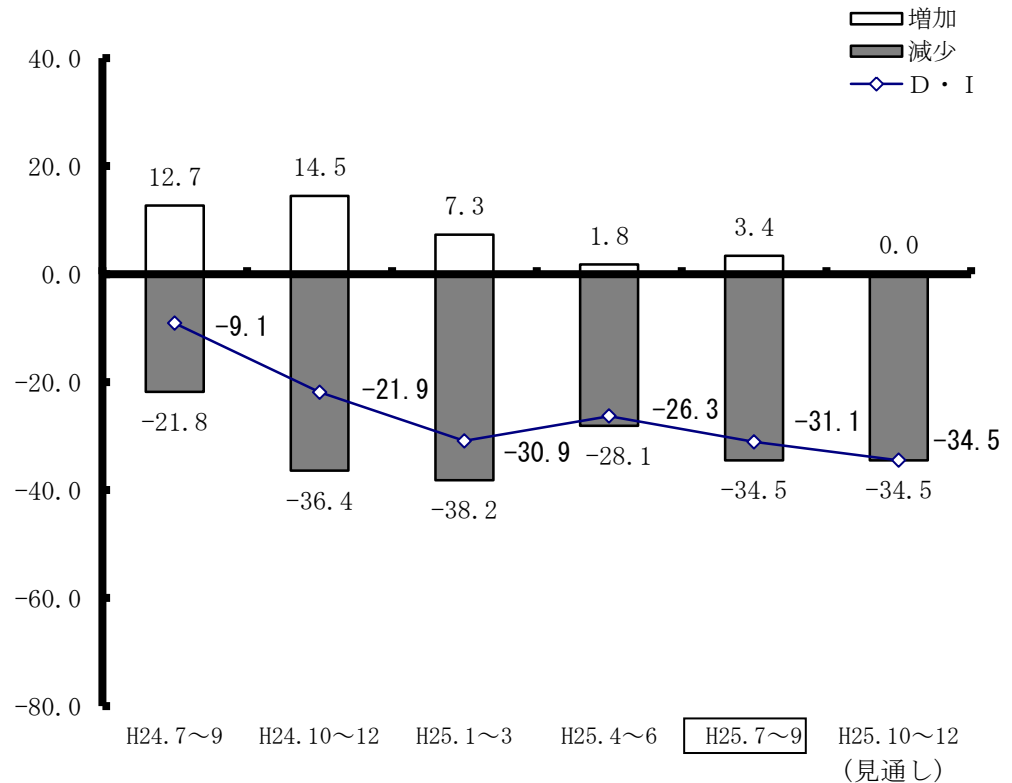


<来期見通し>



今期は、採算増加企業がやや増えましたが、採算悪化を挙げた企業も増加したことから、4.8ポイント減少の△31.1となり、採算D・Iは再び悪化傾向に転じました。

来期は、採算の好転を予想する企業が減少することが予想されますので、引き続き、D・I値の悪化傾向が続く見通しです。

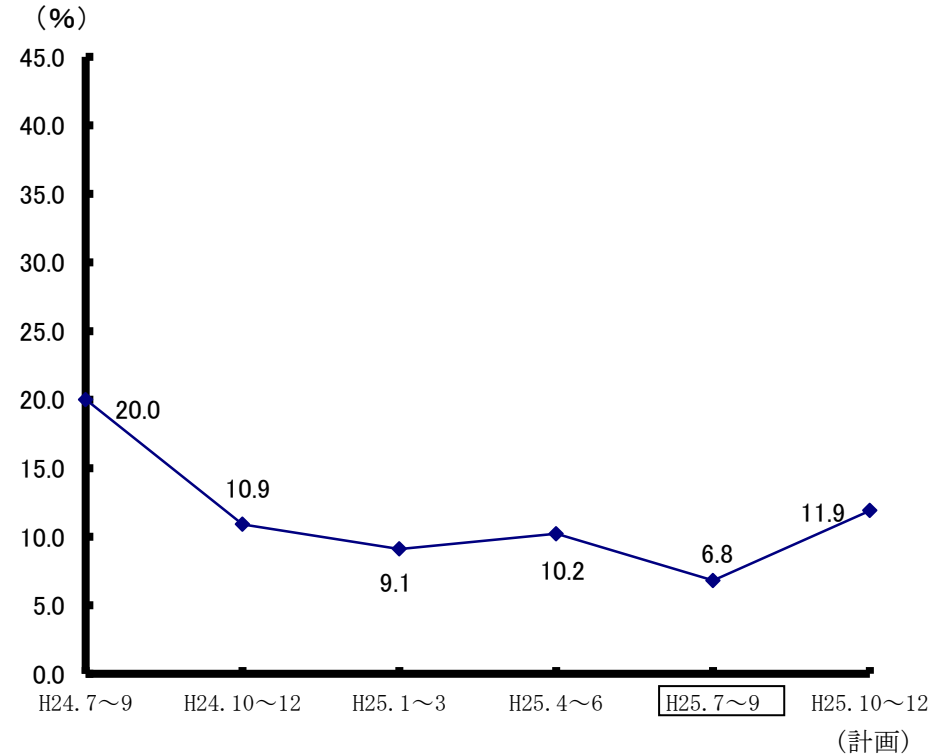


設備投資

今期は、設備投資を実施した企業は3.4ポイント低下の6.8%となり、再び減少傾向に転じました。これは、売上・採算とも悪化したことによるものと思われます。

来期は、設備の高騰が懸念されるものの、11.9%の水準まで上昇する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



サービス業の推移

経営上の問題点

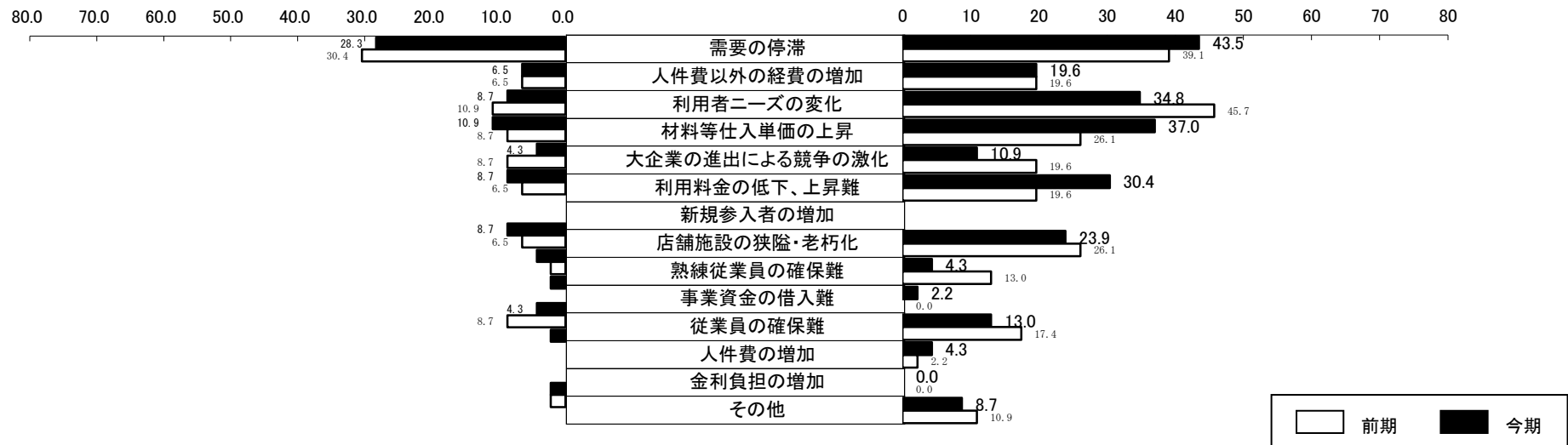
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

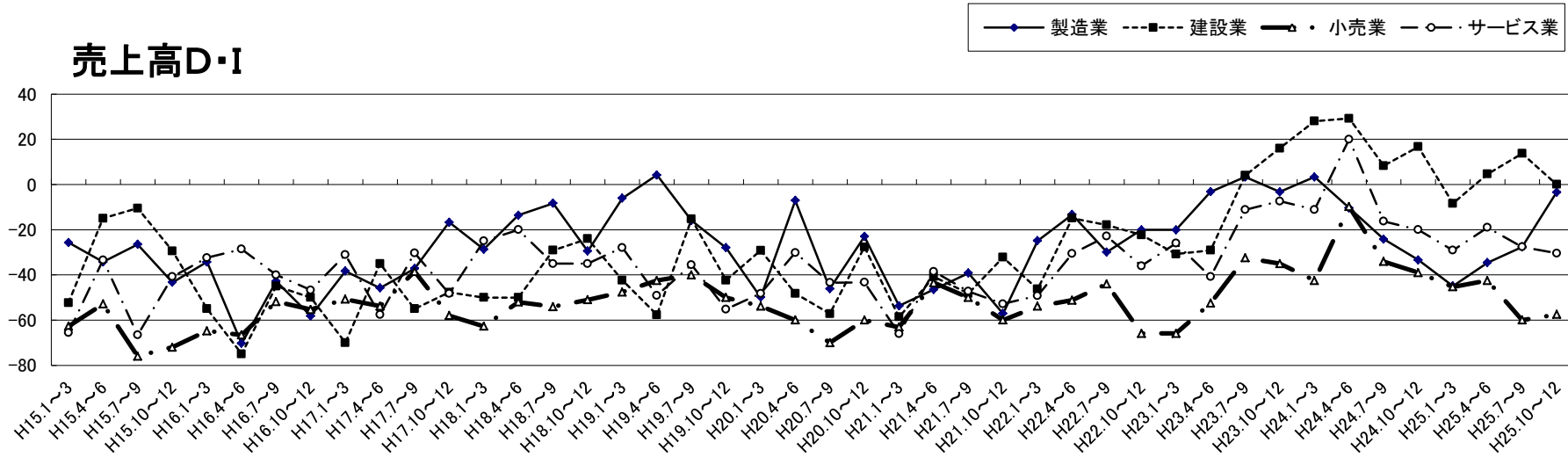
1位~3位の問題点

(目盛: %)

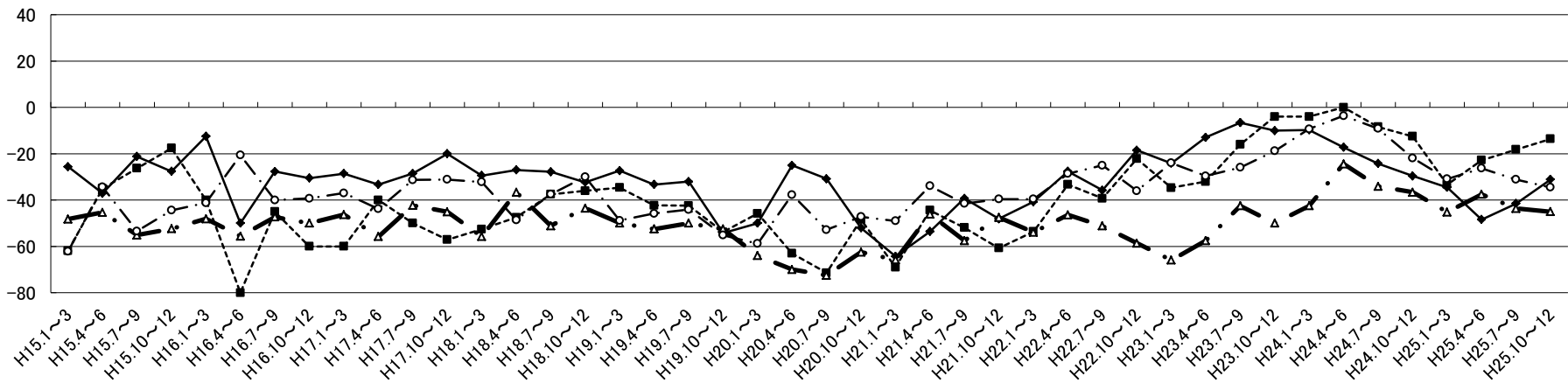


全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)

売上高D・I



採算D・I



集 計 資 料

調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 遠野、陸前高田、二戸市、葛巻町、紫波町
(商工会名) 西和賀、金ヶ崎町、岩泉、普代、洋野町
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 150 企業
2. 調 査 対 象 期 間 平成25年7月～9月を対象とし、調査時点は平成25年9月1日としました。
3. 調 査 方 法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

4. 対象企業等内訳

業種	項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 (%)
製造業 (地域産業)		29 (19.3)	29 (19.3)	100.0
建設業		22 (14.7)	22 (14.7)	100.0
小売業		40 (26.7)	40 (26.7)	100.0
サービス業		59 (39.3)	59 (39.3)	100.0
		150 (100.0)	150 (100.0)	100.0

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものであります。